

5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」「お」と「を」とをしつかり使いわけましょう。
書きおわつたら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、まだなことばを避けりましよう。

1、題目は一行めの三ばんめが四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかりと立てから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

次に二つ目は災害に関するボランティアです。日本では、自然災害が多く近年では、東日本大震災や西日本豪雨災害など大きな災害が起きました。災害に被災した地域にはボランティアが必要不可欠です。実際に被災地の人々がボランティア活動を始めました。ボランティアの言葉などが挙げられます。もし災害ボランティアがなくなり、じんな影響力があるのです。ボランティアとして、元通りに手が足りなければ、災害の復興が遅くなり、元通りにならなければ、災害の被害を受ける地域は、人手が足りなくなることは、難が大きいです。そして、ボランティアの人々によつてもう復興へのやる気なども、湧いてこずより、復興しやすくなるでしょう。このように、ボランティア活動とは、困難な人々のためだけではなく、世界の自然災害や環境問題の解決のためでもあります。あなたも、少しずつでも身の周り

5、読みやすいように、「と」とをつかりつけましょう。「と」とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」とを、しつかり使いましょう。

4、文章の構想をしつかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはからず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

No. 3

5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。ととは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。

6、人が話したところは「」のなかに入れましよう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましよう。

7、漢字やかなづかいに気をつけ特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とをしつかり使いわけましょう。

8、書き終わったら、何回も読みなおし、まちがいをおおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

の	ゴ	ニ	捨	い	な	ど	ち	よ	ア	活	動	を	始	め	て	は	い	が	か	で	し	よ	
ン	テ	イ	ア	活	動	を	始	め	て	は	い	が	か	で	し	た	こ	と	か	ら	ボ	ラ	
う	か	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
（	月	日	曜日																				

鹿屋中学校

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしつかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかなならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわつたら行を変えましょう。